単元構想 国語「天気を予想する」

単元目標

- ◎前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。
- ◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を發表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
- ◎文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。

理科「雲と天気の変化」

雲を見て天気を予想しよう

天気を予想しよう → 予想できないよ
→ 当たらないから

- ・雲の種類を調べればいいよ
- ・気象衛星を見ればわかる・雲の大きさを見たら？
- ・雲の数を数えてみたら？⇒数って？
- ・雲の動きを見ればいいよ・アリを踏むと雨だよ
- ・くつをとばして裏なら雨だよ
- ・テレビで天気予報を見ればすぐにわかるよ

雲を観察してみよう (ある日の午前と午後)

- ・だんだん雲が多くなったぞ
- ・雲の色が黒っぽくなったな
- ・雲が一つにまとまった感じ
- ・山が雲で隠れている
- ・方角によって雲の見え方が違うなあ
- ・雲の量で晴れか曇りがわかるもでは？
- ・晴れと雨では雲の色が違う⇒分厚さ？
- ・雲が動いて天気が変わるのか

国語「天気を予想する」

雲の動き方を観察してみよう

- ・雲をじっと見てればわかるな
- ・風向きを調べればよい→雲が流れるから
- ・人工衛星の画像を見ればまとめて見られるぞ

実際の天気予報は
どうやって予想してるんだろう？

知りたいな

天気予報士の書いた文章を読みましょう
「天気を予想する」武田康男

自分で天気に関する知識
をもつことが大事だ

科学技術って進歩しているんだな

科学の技術はすごいな

筆者は何が言いたいんだろう？

○天気予報は的中率が上がってきているのはなぜだろう？

なぜだろう？

的中率が上がった理由を読み取る

的中率はこのまま上がっていくのか？

人工衛星など科学の技術が進歩している

○百パーセント的中するのは難しいのはなぜだろう？

突発的な天気の変化って結構あるんだな

ゲリラ豪雨みたいなもの？

気象予報士でも予想はできないんだな

突発的・局地的な天気の変化は予想できないのかな？

○突発的・局地的な天気の変化を予想するにはどうしたらいいのだろう？

○実際に自分で空を見ること、風を感じること・先人の知恵（言い伝え）

言い伝えは結構当たるんだな

言い伝えにはどんなものがあるんだろう

筆者（天気予報士）はどんなことを伝えたかったのだろうか

最後の段落に筆者の言いたいことが書いてあるよ

科学技術の進歩

結局は自分で天気を予想した方がいいのか

天気に関する知識

「天気を予想する」を読んで

文章に図や写真があるとわかりやすいな

要旨をつかむ

自分の考えをもつ

写真や表は伝わりやすい方法だな

自分が書くときにも生かせそうだな

次单元「グラフや表を引用して書こう」